

IX 食の安全・安心に向けた産地の取り組みと方向

1 留萌管内広域ミニトマトのこれまでの取り組み経過

ミニトマトの留萌管内広域による販売が平成8年から始まりました。

その間に、食の安全・安心に対する消費者の関心が高まり、留萌管内広域ミニトマト生産者協議会でも協議会会長を中心に取り組みを進めてきました。

平成17年からは北のクリーン農産物表示制度「YES!clean」の登録生産集団となり、環境と消費者に配慮した産地となっています。

平成8年	広域ミニトマト販売体制が始まる
平成12年	広域ミニトマト生産者協議会が設立される
平成16年	エコファーマーに全生産者が認定される
平成17年	北のクリーン農産物表示制度「YES!clean」の登録生産集団となる

2 北のクリーン農産物表示制度「YES!clean」の概要

(1) 制度の概要

ア 安全な農産物生産により消費者の理解と支援を得ること、国内外の産地間競争に対応した農産物の販売を行なうこと、地球規模での環境問題への対応を背景として、農薬・化学肥料を慣行栽培より3割減らし、3つの品質（安全、おいしさ、栄養価）の向上を目標に、北海道のクリーン農業が平成3年からスタートしました。

イ 北のクリーン農産物表示制度は、農薬や化学肥料の使用を削減したクリーンな道産農産物を消費者・実需者に積極的にアピールするため、平成12年に創設されました。

(2) 北のクリーン農産物表示制度の登録基準

ア 北海道で策定した化学肥料、化学合成農薬、堆肥、有機質肥料の慣行レベルに対し、数値化された登録基準内で栽培された農産物であること。

イ 栽培履歴の記帳、栽培協定、栽培基準、生産計画を整備し報告すること。

ウ 栽培情報を消費者に対して提供すること。

3 産地としての今後の取り組み方向は？

(1) 環境に配慮した栽培方法への取り組みを更に進める

減農薬、減化学肥料への取り組みを更に進めるためには、土づくり、耕種的対策、生産環境に対する対策等の間接的な取り組みを進める必要があります。当面の目標は、北海道の地域慣行レベルから50%削減を達成することです。また、セイヨウオオマルハナバチの適正な飼養管理、食品に対する農薬残留を考慮した栽培管理も求められています。

(2) 消費者のニーズに対応した生産体系に取り組む

消費者に選ばれる農産物を生産することは、出荷した農産物の価値を高め、生産者の所得に反映されます。夏秋期に一定量を継続して出荷すること、食味が高いレベルで均一であること等、消費者のニーズに対応した生産に取り組むことが求められます。

(3) G A P (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) に対する取り組み

農産物の安心・安全を担保する手法として、G A P (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) の取り組みがあります。G A P とは農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのことで、生産現場での様々なリスクを点検・改善し、環境や食品安全等に配慮した農産物の生産を行う手法です。

G A P の取り組みは全国的に進んできており、農業者や産地がこの手法を取り入れることにより、結果として持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼を得られることが期待されます。

4 消費者に愛される産地としての取り組みを進めるには？

産地間競争が厳しい状況になっています。このような状況を打開していくためには、各生産者がミニトマト生産のプロとして自信をもって商品を提供することが必要です。個々の生産者が土づくり、農薬、肥料に対する情報の記録を行い、一定の出荷量と品質のミニトマトを消費者に提供し、さらに、糖度、酸度等の食味も一定の基準以上であることが求められます。安定した出荷量と高品質を維持し、今後も消費者に愛されるミニトマト産地として、生産を振興していきましょう。

参考・引用文献

- ミニトマト栽培マニュアル(平成11年)・・・留萌管内広域野菜・花き生産振興協議会
施設野菜ハンドブック・・・園芸情報センター
北海道施肥ガイド(平成14年)・・・北海道農政部
メロンの栄養障害(平成14年)・・・中留萌地区農業改良普及センター
「ミニトマトの栽培(キャロル10)」資料(株)・・・(株)サカタのタネ北海道研究農場
キャロル10パンフレット・・・(株)サカタのタネ北海道研究農場
北海道野菜地図(その27)・・・北海道中央会、ホクレン
トマトの栽培と栄養・生理障害・・・全農 肥料農薬部
症状から見た野菜の生育障害診断・・・タキイ種苗(株) 広報出版部
北海道病虫害防除提要・・・北海道植物防疫協会
マルハナバチの使用マニュアル・・・渡島管内農業改良普及センター
作物保護製品ガイド2005・・・アリスライフサイエンス株式会社
園芸新知識2004年5月号
「循環扇送風や夜間変温管理でトマト灰色かび病を防ぐ」広島県農業技術センター松浦昌平・・・タキイ種苗(株)
病虫害写真原図・・・中留萌地区農業改良普及センター山崎永尋
キャロルスターパンフレット・・・(株)サカタのタネ

執筆

	中留萌地区農業改良普及センター	主 査	山崎	永尋
		専 門 普 及 員	玉井	雅浩
	南留萌地区農業改良普及センター	改 良 普 及 員	吉田	紘子
加筆	留萌農業改良普及センター	主任普及指導員	佐々木	章介
		地 域 係 長	斉藤	浩
		主 査	松田	聖子
		普 及 職 員	岡崎	早織
	留萌農業改良普及センター南留萌支所	主 査	千川	明子
		専門普及指導員	藤塚	敏昭